

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年9月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	病院施設における空調用冷温水ポンプへのインバーター制御設備（エコビジョン）導入による排出削減事業
承認番号	KC1550
排出削減事業者名	独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院門司メディカルセンター
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院門司メディカルセンター (住所：北九州市門司区東港町3番1号)
事業の概要	セントラル空調用の冷温水ポンプを負荷に応じたインバーター制御を行う事で、電力使用量およびCO2排出量の大幅な削減を図る。
排出削減量の計画	<限界電源係数> 2012 年度 2 tCO2/年 2013 年度 69 tCO2/年 2014 年度 67 tCO2/年 2015 年度 66 tCO2/年 2016 年度 65 tCO2/年 2017 年度 59 tCO2/年 (事業実施期間合計 328tCO2) <全電源排出係数> 2012 年度 1 tCO2/年 2013 年度 72 tCO2/年 2014 年度 70 tCO2/年 2015 年度 67 tCO2/年 2016 年度 65 tCO2/年

	2017 年度 59 tCO2/年 (事業実施期間合計 334tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013年3月25日 終了日 2018年3月24日
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入□

2. 本実績確認の対象期間

2016 年 4 月 1 日 ～ 2018 年 3 月 24 日 (第 3 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	243tCO2 (2016年4月1日～2018年3月24日)
-------	-----------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 インバーター制御による冷温水用ポンプの稼働時間や消費電力量が記載されている eco-vision 省エネ実績報告明細書の確認により、導入設備が稼働していることを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 インバーター制御によるポンプの稼働時間および消費電力量

	<p>の実績確認により、承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 空調用冷温水ポンプの稼働時間を月次発行のeco-vision 省エネ実績報告明細書で確認することにより、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量等が報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計され、適切に保存されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 使用されている排出係数が、J クレジット制度モニタリング・算定規定（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2 及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。また、リーケージ排出量はないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2016年4月1日から2018年 3月24日までであり、排出削減量を算定した期間がクレジット認証期間の終了日である2018年 3月24日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 121.2kL、熱量換算 4696.9GJであることを確認した。

以上